

# EUROPEAN PATENT OFFICE

## Patent Abstracts of Japan

本発明装置を接続するネットワーク環境のブロック図

PUBLICATION NUMBER : 2001142814  
PUBLICATION DATE : 25-05-01

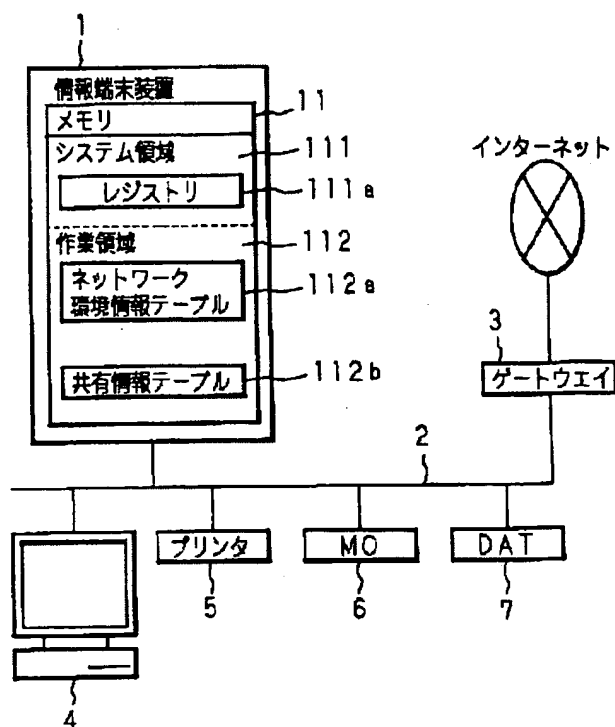
APPLICATION DATE : 10-11-99  
APPLICATION NUMBER : 11320304

APPLICANT : FUJITSU LTD;

INVENTOR : NOSAKA TADASHI;

INT.CL. : G06F 13/00 H04L 12/28

TITLE : INFORMATION TERMINAL  
EQUIPMENT AND RECORDING  
MEDIUM



ABSTRACT : PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an information terminal equipment and a recording medium, in which a user is not necessary to manually set environment setting information and shared resource information corresponding to a network environment every time.

SOLUTION: This equipment is provided with a registry 111a for setting the environment setting information for enabling a connection to a network and the shared resource information for enabling sharing of resources on the network corresponding to the network environment, a means for acquiring this setting information from the registry 111a, network environment information and shared information tables 112a and 112b for preserving this acquired information while relating it to an IP address, for example, and at prescribed timing such as when starting a system, the environment setting information and the shared resource information selected out of the information preserved in the tables 112a and 112b are set to the registry 111a.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-142814

(P2001-142814A)

(43) 公開日 平成13年5月25日 (2001.5.25)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

識別記号

F I

ターミナル\* (参考)

G 0 6 F 13/00

3 5 3

C 0 6 F 13/00

3 5 3 V 5 B 0 8 9

H 0 4 L 12/28

H 0 4 L 11/00

3 1 0 Z 5 K 0 3 3

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平11-320304

(22) 出願日 平成11年11月10日 (1999.11.10)

(71) 出願人 000005273

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

(72) 発明者 岸本 孝浩

鳥取県鳥取市永楽温泉町271番地 株式会社富士通鳥取システムエンジニアリング内

(72) 発明者 野坂 正

鳥取県鳥取市永楽温泉町271番地 株式会社富士通鳥取システムエンジニアリング内

(74) 代理人 100078868

弁理士 河野 登夫

最終頁に続く

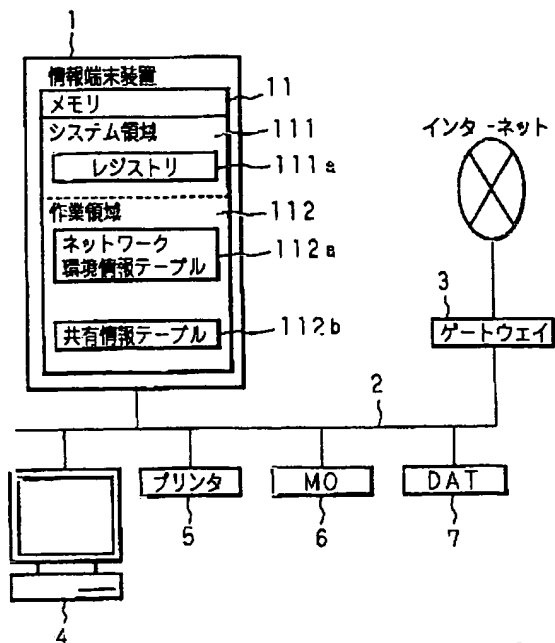
(54) 【発明の名称】 情報端末装置及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ネットワーク環境に応じた環境設定情報、及び共有資源情報をユーザが逐一、手作業で設定しなくてよい情報端末装置、及び記録媒体の提供。

【解決手段】 ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報をネットワーク環境に応じて設定するレジストリ111aと、レジストリ111aからこれらの設定情報を取得する手段と、取得したこれらの情報を、例えばIPアドレスに関連付けて保存するネットワーク環境情報テーブル112a及び共有情報テーブル112bとを設け、システム起動時のような所定のタイミングで、テーブル112a、112bに保存されている情報の中から選択された環境設定情報及び共有資源情報をレジストリ111aに設定する。

本発明装置を接続するネットワーク環境のブロック図



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に設定すべき情報端末装置において、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得する手段と、

取得した環境設定情報及び共有資源情報を、ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に保存する手段と、

所定のタイミングで、第2の記憶領域に保存されている環境設定情報及び共有資源情報の中からの選択を受け付ける手段と、

選択された環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に設定する手段とを備えたことを特徴とする情報端末装置。

【請求項2】 ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に設定すべき情報端末装置において、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得する手段と、

取得した環境設定情報及び共有資源情報を、ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に保存する手段と、

所定のタイミングで、第2の記憶領域に保存されている各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれる、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続の可否を判定する判定手段と、接続が可能であると判定したネットワーク環境に関連付けて保存されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に設定する手段とを備えたことを特徴とする情報端末装置。

【請求項3】 第2の記憶領域の保存内容に基づいて設定した環境設定情報及び／又は共有資源情報の設定内容の変更を受け付ける手段と、該環境設定情報及び／又は共有資源情報の設定内容が変更された場合は、第2の記憶領域の保存内容を変更後の設定内容に変更する手段とを備えたことを特徴とする請求項1又は2記載の情報端末装置。

【請求項4】 各ネットワーク環境でのネットワークへの接続回数を計数して計数値を保存する手段を備え、前記判定手段が、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を、接続回数の多い接続ノードから順次発行する手段であることを特徴とする請求項2又は3記載の情報端末装置。

【請求項5】 コンピュータに、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境

に応じて、第1の記憶領域に書き込ませるコンピュータプログラムが記録されており、コンピュータでの読み取りが可能な記録媒体において、

コンピュータに、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得させるプログラムコード手段と、

コンピュータに、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、各ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段と、

コンピュータに、所定のタイミングで、第2の記憶領域に書き込まれている環境設定情報及び共有資源情報の中からの選択を受け付けさせるプログラムコード手段と、コンピュータに、選択された環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段とを含むコンピュータプログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項6】 コンピュータに、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に書き込ませるコンピュータプログラムが記録されており、コンピュータでの読み取りが可能な記録媒体において、

コンピュータに、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得させるプログラムコード手段と、

コンピュータに、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、各ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段と、

コンピュータに、所定のタイミングで、第2の記憶領域に書き込まれている各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれる、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求させ、ネットワークへの接続の可否を判定させるプログラムコード手段と、コンピュータに、接続が可能であると判定したネットワーク環境に関連付けて書き込まれている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段とを含むコンピュータプログラムが記録されていることを特徴とする記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、例えばモバイル・コンピューティングにおけるノート型パソコンのような情報端末装置のように、ネットワーク環境が勤務先、出張先、自宅等に変わる都度、IPアドレスのような環境設定情報、及びフォルダ、プリンタ、デバイス・ドライバ等のネットワーク上の共有資源の情報を設定し直さなければならない情報端末装置、及びコンピュータにこれ

らの情報を設定させるコンピュータプログラムが記録されている記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】ノート型パソコンのような情報端末装置を利用して、勤務先、出張先、自宅等の複数のネットワーク環境でモバイル・コンピューティングを行う場合、ネットワーク環境が変わる都度、例えば、TCP/IPを通信プロトコルとしているネットワーク環境では、情報端末装置を接続すべきノードのIPアドレス、ゲートウェイのIPアドレス、DNS (Domain Name Server) によって割り当てられたIPアドレス等のネットワーク環境の設定情報を設定し直さなければネットワークに接続することができない。

【0003】また、SOHO (Small Office Home Office) のような環境では、複数台のコンピュータで、プリンタ、フォルダ、またMO (Magnet Optical) ディスク、DAT (Digital Audio Tape recorder) 等のデバイス・ドライブといった資源をネットワーク化して共有するシステムを構築することで、狭いオフィス面積を最大限に活用するケースが増加している。

【0004】このようにネットワーク上の資源を共有する場合、コンピュータに、プリンタの論理プリンタ名、デバイス・ドライブ名、フォルダのパス等の共有資源情報を設定しなければ資源を利用できるようにならない。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】以上のように、従来の情報端末装置は、ネットワーク環境が変わった場合、そのネットワーク環境に応じた環境設定情報を手作業で設定し直さなければならず、ネットワークにすぐに接続できないため、作業効率が低下する。

【0006】またプリンタ、デバイス・ドライブ等の資源を共有しているネットワーク環境では共有資源情報を手作業で設定しなければならず、情報端末装置を接続してもすぐに資源を利用できるようにならないため、作業効率が低下する。

【0007】また、IPアドレスのような桁数が多く数字だけで構成されている情報は記憶しておくことが困難であるため、メモを見る等して設定しなければならず設定操作が煩雑であるとともに、設定ミスの発生する危険性がある。

【0008】本発明はこのような問題点を解決するためになされたものであって、例えば、Windows 95/98 (マイクロソフト社) のようなOSを搭載したコンピュータには、各種の設定情報を保存するレジストリが設けられている点に着目し、設定された環境設定情報、及び共有資源情報をレジストリのような記憶領域から取得してネットワーク環境別に他の記憶領域に保存しておき、例えばシステムの起動時に、これらの中からユーザが選択した環境設定情報及び共有資源情報をレジス

トリのような記憶領域に設定することにより、また各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれているIPアドレスのような、各ネットワーク環境での接続ノードを特定する情報を所定の順序で順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続が可能であった環境設定情報及び共有資源情報を自動的に設定することにより、ネットワーク環境が変わっても、そのネットワーク環境に応じた環境設定情報、及び共有資源情報をユーザが逐一、手作業で設定する必要がなくて作業効率が良い情報端末装置、及びこの装置をコンピュータで実現するためのコンピュータプログラムが記録されている記録媒体の提供を目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の情報端末装置は、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に設定すべき情報端末装置において、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得する手段と、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に保存する手段と、所定のタイミングで、第2の記憶領域に保存されている環境設定情報及び共有資源情報の中からの選択を受け付ける手段と、選択された環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に設定する手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】また本発明の情報端末装置は、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に設定すべき情報端末装置において、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得する手段と、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に保存する手段と、所定のタイミングで、第2の記憶領域に保存されている各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれる、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続の可不可を判定する判定手段と、接続が可能であると判定したネットワーク環境に関連付けて保存されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に設定する手段とを備えたことを特徴とする。

【0011】また本発明の情報端末装置は、さらに、第2の記憶領域の保存内容に基づいて設定した環境設定情報及び／又は共有資源情報の設定内容の変更を受け付ける手段と、該環境設定情報及び／又は共有資源情報の設定内容が変更された場合は、第2の記憶領域の保存内容を変更後の設定内容に変更する手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】また本発明の情報端末装置は、さらに、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続回数を計数して計数値を保存する手段を備え、前記判定手段が、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を、接続回数の多い接続ノードから順次発行する手段であることを特徴とする。

【0013】本発明の記録媒体は、コンピュータに、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に書き込ませるコンピュータプログラムが記録されており、コンピュータでの読み取りが可能な記録媒体において、コンピュータに、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得させるプログラムコード手段と、コンピュータに、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、各ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段と、コンピュータに、所定のタイミングで、第2の記憶領域に書き込まれている環境設定情報及び共有資源情報の中からの選択を受け付けさせるプログラムコード手段と、コンピュータに、選択された環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段とを含むコンピュータプログラムが記録されていることを特徴とする。

【0014】また本発明の記録媒体は、コンピュータに、ネットワークへの接続を可能にする環境設定情報、及びネットワーク上の資源の共有を可能にする共有資源情報を、ネットワーク環境に応じて、第1の記憶領域に書き込ませるコンピュータプログラムが記録されており、コンピュータでの読み取りが可能な記録媒体において、コンピュータに、設定されている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域から取得させるプログラムコード手段と、コンピュータに、取得した環境設定情報及び共有資源情報を、各ネットワーク環境を特定する情報に関連付けて第2の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段と、コンピュータに、所定のタイミングで、第2の記憶領域に書き込まれている各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれる、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求させ、ネットワークへの接続の可否を判定させるプログラムコード手段と、コンピュータに、接続が可能であると判定したネットワーク環境に関連付けて書き込まれている環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に書き込ませるプログラムコード手段とを含むコンピュータプログラムが記録されていることを特徴とする。

【0015】本発明では、例えば、Windows 95/98のようなOSを搭載したコンピュータには、各種の設定情報を保存するレジストリが設けられている点に着目し、設定された環境設定情報、及び共有資源情報

をレジストリのような第1の記憶領域から取得して、勤務先、出張先等のネットワーク環境別に第2の記憶領域に保存しておき、例えばシステム起動時のような所定のタイミングで、これらの中からユーザが選択した環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に設定する。従って、ネットワーク環境が変わっても、ユーザは、そのネットワーク環境に応じた環境設定情報、及び共有資源情報を、保存されている情報の中から選択するだけで、逐一、手作業で設定する必要がない。

【0016】また本発明では、例えば、Windows 95/98のようなOSを搭載したコンピュータには、各種の設定情報を保存するレジストリが設けられている点に着目し、設定された環境設定情報、及び共有資源情報をレジストリのような第1の記憶領域から取得して、勤務先、出張先等のネットワーク環境別に第2の記憶領域に保存しておき、例えばシステム起動時のような所定のタイミングで、各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれているIPアドレスのような、各ネットワーク環境での接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続が可能であった環境設定情報及び共有資源情報を第1の記憶領域に自動的に設定する。従って、ネットワーク環境が変わっても、ユーザは、そのネットワーク環境に応じた環境設定情報、及び共有資源情報の設定を意識しなくてよい。

【0017】また本発明では、第2の記憶領域の保存内容に基づいて第1の記憶領域に設定した環境設定情報、共有資源情報のいずれか一方、または両方の設定内容が変更された場合、第2の記憶領域の保存内容を変更後の設定内容に変更する。従って、ユーザは設定内容を手作業で変更することができる。

【0018】また本発明では、各ネットワーク環境でのネットワークへの接続回数を計数して計数値を保存しておき、各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれているIPアドレスのような、各ネットワーク環境での接続ノードを特定する情報を順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続の可否を判定する際に、接続回数が多いネットワーク環境の情報を優先的に発行する。従って、環境設定情報及び共有資源情報の設定を早期に完了することができる。

【0019】

【発明の実施の形態】図1は本発明の情報端末装置（以下、本発明装置という）を接続するネットワーク環境のブロック図、図2はネットワーク環境情報テーブル及び共有情報テーブルの概念図である。本発明装置1は、例えばWindows 95/98のようなOSが搭載されたノート型パソコンのような情報端末装置により実現される。本発明装置1を接続するネットワーク環境はLAN (Local Area Network) 2により接続され、LAN 2はゲートウェイ3を介してインター

ネットのようなネットワークに接続される。

【0020】LAN2には、パソコン4、プリンタ5、MO6、DAT7などのデバイスが接続されている。パソコン4が管理しているフォルダには、LAN2を介して共有することが可能なフォルダが含まれており、またプリンタ5、MO6、DAT7なども、LAN2を介して共有することが可能である。

【0021】本発明装置1のメモリ11のシステム領域111には、ネットワーク環境に応じた環境設定情報、ネットワークを介して共有する資源の情報等、パソコンとユーザに関するさまざまな設定情報を記録する、第1の記憶領域としてのレジストリ111aが存在する。

【0022】本発明装置1のメモリ11の作業領域112、即ち第2の記憶領域には、例えばシステム終了時にレジストリ111aから取得した、各ネットワーク環境（大井町9F、FTT6F、SL8Fなど）に応じて設定された、情報端末装置用の接続ノードのIPアドレス、ゲートウェイのIPアドレス、DNSによって割り当てられたIPアドレス、NetBiosの使用／非使用、詳細設定、バインド（C／S共有または非共有）、ドメイン名を保存するネットワーク環境情報テーブル112aと、またネットワーク環境で共有する共有プリンタ名（論理プリンタ名）、共有デバイス・ドライブ名、共有フォルダ名（パス）等を、各接続環境の接続ノードのIPアドレスに関連付けて保存する共有情報テーブル112bとが設けられている。

【0023】ネットワーク環境情報テーブル112aには、上述の環境設定情報の他に、各ネットワーク環境でネットワークへ接続する都度、カウントアップされる接続回数を保存する領域が設けられており、この接続回数に基づいて、例えばシステム起動時のような所定のタイミングで、環境設定情報及び共有情報を自動的に設定するためにネットワークへの接続の可否を判定すべく発行するゲートウェイのIPアドレスを発行する際の発行優先順位を決定する。

【0024】次に、本発明装置のシステム起動時の動作の一例を、図3のフローチャートに基づいて説明する。システムが起動されると、ネットワーク環境情報テーブル112aの優先順にゲートウェイのIPアドレスを発行して（ステップS3-1）、ネットワークとの接続を要求する。ゲートウェイからの応答信号に基づいて、ネットワークとの接続が可能か否かを判定する（ステップS3-2）。

【0025】ネットワークとの接続が不可能な場合はステップS3-1に戻って次の順位のゲートウェイのIPアドレスを発行してネットワークとの接続を要求する。接続が可能になるまでIPアドレスの発行を繰り返し、接続が可能になった場合は、ネットワーク環境情報テーブル112aのその他の情報（DNS設定IPアドレス、NetBIOSの使用／非使用、詳細設定の有無、

バインドの共有の有無、ドメイン名など）をレジストリ111aにセットする（ステップS3-3）。

【0026】次に、ネットワーク環境情報テーブル112aの接続ノードのIPアドレスとリンクした共有情報テーブル112bのレコードを検索し、共有情報テーブル112bの該当レコードの各種情報をレジストリ111aにセットする（ステップS3-4）。

【0027】ネットワーク環境情報テーブル112aの接続回数に“1”を加算して全レコードの並び順を接続回数順にソートして（ステップS3-5）、システムをログオフする（ステップS3-6）。以上の情報がレジストリ111aに設定されることにより、ネットワーク環境での通信及び資源の共有といったシステムの使用が可能になる（ステップS3-7）。

【0028】なお、ステップS3-1、S3-2を繰り返した結果、いずれのIPアドレスを発行してもネットワークに接続できなかった場合は、手動での設定をユーザに要求する。

【0029】また、以上の手順では、システムがネットワーク環境情報テーブル112a及び共有情報テーブル112bから、必要な情報をレジストリ111aに自動的にセットしたが、ネットワーク環境情報テーブル112aの情報、または接続環境名（大井町9F、FTT6F、SL8Fなど）をユーザに提示して選択させ、選択された情報をレジストリ111aにセットしてもよい。

【0030】なお、以上の情報設定において、ユーザが手作業でレジストリ111aの設定内容を変更することも可能である。

【0031】次に、本発明装置のシステム終了時の動作を、図4のフローチャートに基づいて説明する。システムの終了が指示されると、レジストリ111aの設定内容がネットワーク環境情報テーブル112aに保存されているか否か、即ち新規の接続環境でのネットワーク接続か否かを判定し（ステップS4-1）、新規接続の場合は、ネットワーク環境情報テーブル112a、及び共有情報テーブル112bに、レジストリ111aの設定内容を新規追加する（ステップS4-2）。

【0032】一方、新規接続でない場合は、ネットワーク環境情報テーブル112a、及び共有情報テーブル112bの該当するレコードの保存内容を、レジストリ111aの設定内容で更新する（ステップS4-3）。

【0033】なお、以上のようなネットワーク環境情報及び共有資源情報設定のコンピュータプログラムはコンピュータにプレインストールして提供することも、またCD-ROM、MO等の可搬型記録媒体で提供することも可能である。さらに回線経由で提供することも可能である。

【0034】

【発明の効果】以上のように、本発明では、例えば、Windows 95/98のようなOSを搭載したコン

コンピュータには、各種の設定情報を保存するレジストリが設けられている点に着目し、設定された環境設定情報、及び共有資源情報をレジストリのような記憶領域から取得してネットワーク環境別に他の記憶領域に保存しておき、例えばシステムの起動時に、これらの中からユーザーが選択した環境設定情報及び共有資源情報をレジストリのような記憶領域に設定するので、また各ネットワーク環境の環境設定情報に含まれているIPアドレスのような、各ネットワーク環境での接続ノードを特定する情報を所定の順序で順次発行してネットワークへの接続を要求し、ネットワークへの接続が可能であった環境設定情報及び共有資源情報を自動的に設定するので、ネットワーク環境が変わっても、そのネットワーク環境に応じた環境設定情報、及び共有資源情報をユーザーが逐一、手作業で設定する必要がなくて作業効率が良いという優れた効果を奏する。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明装置を接続するネットワーク環境のブロック図である。

【図2】ネットワーク環境情報テーブル及び共有情報テ

ーブルの概念図である。

【図3】本発明装置のシステム起動時の動作の一例のフローチャートである。

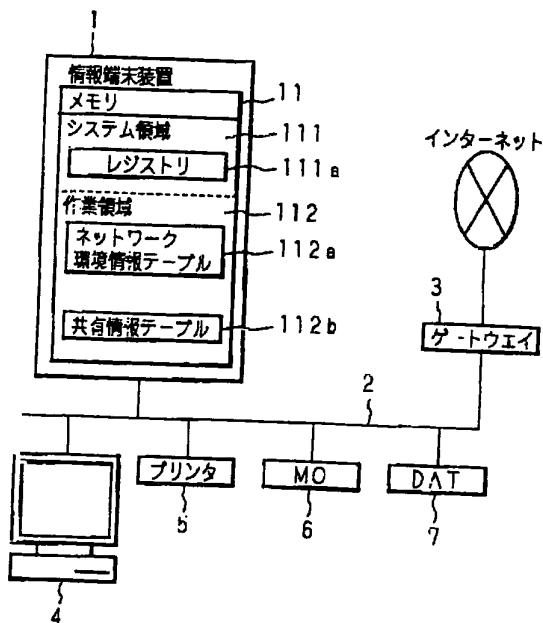
【図4】本発明装置のシステム終了時の動作フローチャートである。

#### 【符号の説明】

- 1 情報端末装置（本発明装置）
- 11 メモリ
- 111 システム領域
- 111a レジストリ
- 112 作業領域
- 112a ネットワーク環境情報テーブル
- 112b 共有情報テーブル
- 2 LAN
- 3 ゲートウェイ
- 4 パソコン
- 5 プリンタ
- 6 MO
- 7 DAT

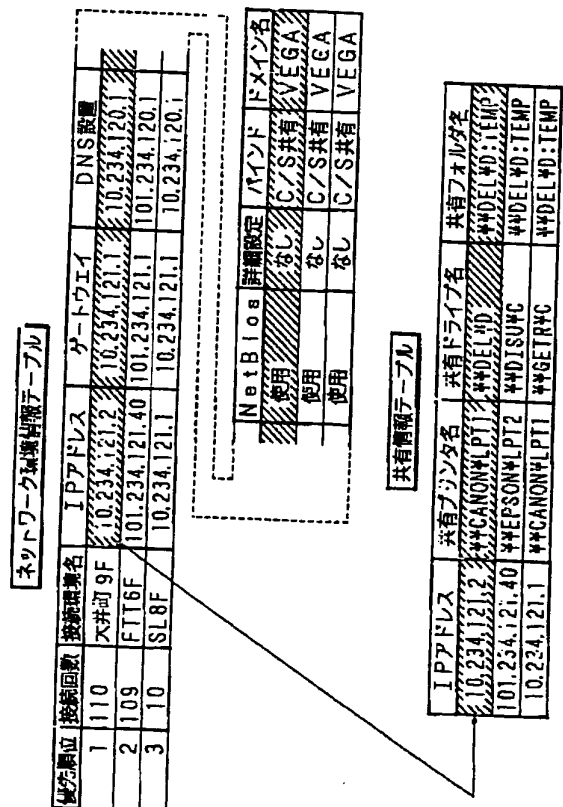
【図1】

本発明装置を接続するネットワーク環境のブロック図



【図2】

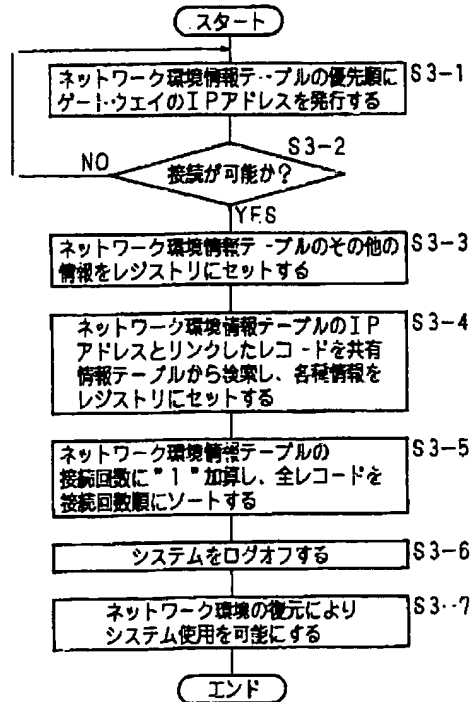
ネットワーク環境情報テーブル及び共有情報テーブルの概念図





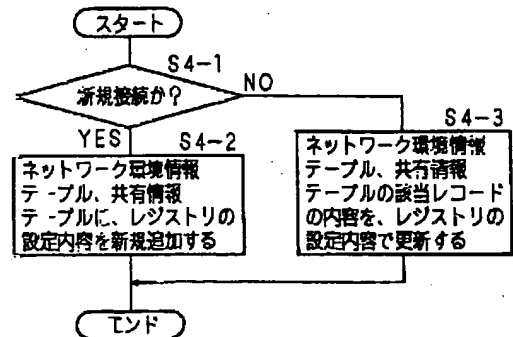
【図3】

システム起動時の動作の一例のフローチャート



【図4】

システム終了時の動作フローチャート



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B089 GA21 GB02 JB22 KA01 KA04  
KB10 KC15 KC23 KC59  
5K033 AA03 BA08 DA01 DA13 DB14  
DB20 EA07 EC04

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**